

■児童の学力の状況

- 昨年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」やRSTの結果から、国語では「資料や説明文から問題を見つけたり、自分の考えを伝えたりする力」「主語・述語・修飾語の関係を読み解く力」、算数では「図形」「文章題」の分野の平均正答率が低かった。
- 学習に対して受け身の姿勢がある。自分の考えをまとめ課題解決に向けて取り組んではいるが、友達に伝えたり表現したりする力をさらに伸ばす必要がある。
- 予習・復習など、家庭学習が定着していない児童がいる。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 児童が主体的に取り組めるような課題選択や問題解決学習を行う必要がある。
- 発達段階に応じたノート指導や家庭学習の徹底について、全教員で共通理解し、指導を続けていく。
- ICT機器を活用した授業の取組について、さらに効果的な活用方法を共有していく必要がある。

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- **一時間一時間の授業革新**  
「かんがえる」＝考える場面の設定 「ふりかえる」＝振り返りを書くことの習慣化
- **体験を通し知識をつなぐ** 中根橋ACT（体験活動で育成したい資質・能力）  
**Action**（行動する力）まずやってみる **Collaboration**（協働する力）学び合いながら自分や相手のよさに気付く
- **Thinking**（考える力）失敗から学ぶ
- **子どもとの信頼関係を基盤とした協働**  
「まちがえる」 間違っている、みんな違っている、みんなが認められる学級
- **個に応じた教育**  
「個に応じた支援」＝間違っている、みんな違っている、個が認められる

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
○ 課題の設定→予想→活動→結果→考察→結論→考察といった学習の過程を大切に、児童自身が学習のめあてと見通しをもつことができるようにする。また導入を工夫し、意欲的に課題設定ができるようにする。	○ 一人で考える時間と、ペアや小グループの友達と考えを共有する時間を確保し、自分の考えとの違いや互いのよさに気付いたり、よりよい考えを創り出したりできるようにする。	○ 学習のめあてを具体的に提示し、授業の終わりに、めあてに対する振り返りを、ノートに記入したり発表したりする時間を設定する。 ○ 机間指導の際に児童の考えを把握し、深い学びに結び付くようファシリテートする。

■いたばし学び支援プラン2021の実現に向けた取組

授業におけるマナー・ルールの徹底	学習環境の充実	教員の指導力向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習に必要な用具は連絡帳やお便りを確認し忘れない。</li> <li>○ 授業の始めと終わりは全員であいさつをする。</li> <li>○ 手を挙げて指名されてから発言する。</li> <li>○ 先生や大人、友人の発言は、「目・耳・心」で聴くように心がけ、最後までしっかり聴く。</li> <li>○ 発表の仕方や声の大きさ（聞き方名人、話し方名人）に気を付けて聞いたり話したりする。</li> <li>○ 学習中は自分の席に正しく座り、必要なとき以外は立ち歩かない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全で清潔な教室環境を整え、ユニバーサルデザインに努める。</li> <li>○ ICT機器（電子黒板、書画カメラ、タブレット端末等）や思考ツールを効果的に活用した授業を日常的に展開し、児童の興味・関心を高めると同時に、可視化、教具・具体物の代用、考えの共有化等を図る。</li> <li>○ 可能な限り、地域を生かした体験的な学習やゲストティーチャーを迎えての授業、交換授業や合同授業、ペアや小グループの学習形態など、創意工夫した学習活動を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「何を」考えさせるのか授業のめあてを明確に提示し、「何を」考えるのか分かる視覚的な教材を用意する。</li> <li>○ 振り返りを書かせることで、児童の僅かな成長を見逃さない。</li> <li>○ 「なぜ」「どうして」と意識的に発問し、どんな意見も受け止め、他の子につなぐ。子どもがつかない意見を板書し視覚化する。</li> <li>○ OJT担当主任が計画を立て、教員同士の授業参観や研修を年間計画に基づいて実施し、指導力の向上を図る。</li> <li>○ 教育会の各部会や指導教諭・教科専門官の模範授業等に参加し、指導力向上に努める。</li> </ul>



